

大分市地域まちづくりビジョン

大分西部地域ビジョン会議 通信

第2号

発行：大分西部地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆さまにご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行しております。今回、第2回会議の内容についてご報告いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市において、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など、様々な課題への対策が求められています。これらの課題解決のため、市内 13 地域で、地域の代表者等で構成する「ビジョン会議」を 6 月に設置し、それぞれの特性を踏まえた地域の将来像である「地域まちづくりビジョン」の策定に向けた議論を進めています。

第2回会議では、事務局より本市の都市計画及び立地適正化計画についての説明後、グループワークによる意見交換が行われました。

第2回地域ビジョン会議

■平成 29 年 8 月 2 日(水)
18:30~20:15

■大分西部公民館3階
多目的ホール

<内容>

一、会長あいさつ
二、議事

- 1.第1回ビジョン会議の整理について
 - ・ビジョン会議通信の発行について
 - ・まちづくりビジョンの進捗状況について
 - 2.これからのまちづくりについて
 - ・大分市の都市計画について
(都市計画マスタープラン、立地適正化計画)
 - 3 グループワーク
 - まちづくりのコンセプト(理念)を見出そう
- 三、その他



これからのまちづくりについて

事務局より「地域まちづくりビジョン」の策定に向け、参考となる本市の都市計画について説明を行いました。

1. 大分地区(大分西部地域を含む)における都市計画について

大分地区の JR 大分駅南北を中心とした市街地は、大分都市計画区域の商業・業務の中心地であり、本市のみならず、県都、さらには東九州の重要な拠点にふさわしい規模、質を兼ね備えた商業・業務都心を形成することが期待される地区です。

特に、大分西部地域は、西大分港の海の玄関口としての交通結節機能の強化、湾岸交流拠点の形成や高崎山周辺の自然環境を保全、景観形成や湾岸レジャーゾーンの形成を図っていく方針です。

2. 大分市立地適正化計画について ※現在、策定中。

本市では、昭和 39 年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。その結果、今後、少子高齢化等の進展による人口減少及び人口密度の低下に伴い、公共交通の縮小や地域コミュニティ機能の低下等が予測されます。

そのため、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、災害から人命を守ることなどを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行うとともに、本ビジョン会議の意見も参考にしながら「大分市立地適正化計画」を策定し、平成 30 年度末に公表する予定です。



グループワークの概要

大分西部地域の現状や課題、将来像についての意見やアイデアを話し合うため、委員の皆さまに2班に分かれていただき、下記のステップでグループワークを行いました。

【ステップ1】

重みづけ
(重要項目の選定)



【ステップ2】

ブレインストーミング
(意見を話し合う)



【ステップ3】

親和図作成
(意見の整理)



【ステップ4】

各班コンセプト(案)
発表



【今後について】

各班から発表された西部地域まちづくりのコンセプト(案)をもとに、ビジョン策定に向けた議論を深めていきます。

【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

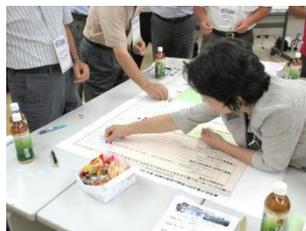
大分市総合計画の「基本的な政策の体系」を参考に、地域の強みや弱み、また課題と感じている重要項目に一人5枚のシールを貼っていただきました。

-1班-

(班の総括)

シールの多い項目の一つは「子ども・子育て支援の充実」ということで、大分西部地域は文教地域として素晴らしいところ、またその充実の反面、課題の部分があることの表れかなと思います。それに関連しまして、教育・文化の振興においても「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」が選ばれていました。

また、都市基盤の「計画的市街地の形成」、「交通体系の確立」の部分にも多く(シールが)あります。アクセス道路や国道10号、日豊線の高架下、それ以外にも八幡の方や西の台周辺の道路整備について考えていくと、今後の課題などが見えてくるのではないかと考えています。



【重要項目に選ばれた施策】

- 子ども・子育て支援の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者(児)福祉の充実
- 計画的な市街地の形成
- 交通体系の確立
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実
- 交通安全対策の推進
- 商業・サービス業の振興

-2班-

(班の総括)

シールを貼った傾向は、ほぼ1班と一緒に、「子ども・子育て支援の充実」や「高齢者福祉の充実」など市民福祉の向上が多く選ばれました。

また、大きな特徴としては、環境保全の「豊かな自然の保全と緑の創造」や教育文化の振興の「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」にシールが多く、大分西部地域が誇る豊かな自然環境を守る重要性や自然を生かした教育が大事という結果になったと思います。その他にも田ノ浦ビーチやうみたまごなどの観光資源が多い反面、海岸が近いことから地震による津波対策にも力を入れたほうがよいということで「防災・危機管理体制の確立」が選ばれていました。



【重要項目に選ばれた施策】

- 豊かな自然の保全と緑の創造
- 子ども・子育て支援の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者(児)福祉の充実
- 商業・サービス業の振興
- 防災・危機管理体制の確立
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

【ステップ2】ブレインストーミング（地域の魅力や課題を書き込む）

【ステップ3】親和図作成（問題点と課題点の整理）

各班で、地域の魅力や課題をメモ用紙（付箋）に書き込み、それらを模造紙に共通の内容ごとにグループ分けし、地域のコンセプトを考えました。

ー 1班ー ※意見の一部を掲載しています。

■ 福祉

- ・高齢者が多くなってお互いに助け合っていけるまちづくり
- ・住民の定住化を図るための施策が必要
- ・高齢化による地域活性化の不足 ほか

■ 教育・文化

- ・子どもが集まれる児童館の建設
- ・子どもの就職、職業感を育てる教育の拡充
- ・スポーツ等を通じた地域の活性化
- ・大友宗麟の南蛮貿易の史跡、福田平八郎の生家跡を観光資源に ほか

■ 防災

- ・ウォーキングを活用した防犯体制の確立
- ・防犯活動は充実しているが更なる進化を
- ・津波用避難所として高崎山近くに立体駐車場を設置 ほか

■ 産業

- ・海沿いのエリアの有効活用
- ・田ノ浦ビーチの活用、道の駅か土日だけの物産、山の幸海の幸市場の設置 ほか

■ 都市

- ・鉄道残存敷と住吉川の一体的な活用
- ・高崎山、田ノ浦ビーチをつなぐ交通体系の整備
- ・田ノ浦地区に若い人用の低価格住宅の建設 ほか

■ 環境

- ・海、緑を生かしたまちづくり
- ・鉄道残存敷に樹木を ほか



ー 2班ー ※意見の一部を掲載しています。

■ 福祉

- ・地域からスーパーが消えた（買物難民になる恐れ）
- ・高齢者の生きがいを感じる基地をつくる ほか

■ 教育・文化

- ・子どもが集まって活動する場があるといい
- ・自然体験教育の導入
- ・学校へのライフセービング教育の導入
- ・海版の総合型地域スポーツクラブ
- ・見守り活動に出ている人達が多く嬉しい ほか

■ 防災

- ・西大分かんたん港園に立体駐車場の設置（津波対策）
- ・地域、学校が連携した避難訓練
- ・災害から命を守る「命の教育」water safety の実施 ほか

■ 産業

- ・街歩きルート開発
- ・西大分→田ノ浦→うみたまごや高崎山をつなぐ観光振興 ほか

■ 都市

- ・かんたんと柞原を結ぶバス路線の開設
- ・かんたん港エリアの開発
- ・西大分駅周辺の開発による観光地づくり ほか

■ 環境

- ・田ノ浦の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために環境保全教育 ほか



【ステップ4】各班のまちづくりのコンセプト(案)を発表

各班で、それぞれの意見を取りまとめで導いたコンセプト(案)の発表を行いました。

《1班》

コンセプト: **生涯 安心 安全 楽しい** ~恵まれた環境を最大限に活かした西部地区~



(コンセプトの内容)

大分西部地域は、さまざまな環境に恵まれているということと、将来の子どもたちのことを考えて、元気で素直な明るい子どもの未来というようなことをイメージしました。

また、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりという意見も多数あったことから、それらをひとまとめにして、生涯、安心安全で、そして楽しくなければいけない、楽しいまちを作りたいということで、「生涯 安心 安全 楽しい~恵まれた環境を最大限に活かした西部地区~」というコンセプトにしました。



《2班》

コンセプト: **学び・遊びのまちづくり**



(コンセプトの内容)

子どもたちに良いまちを残そうと考えたとき、教育文化や防災、都市基盤、福祉、環境などさまざまな要素が出てきました。

その中でも、観光分野で言えば、大分西部地域の海岸線が非常にキレイで、その中に高崎山やうみたまごを中心とした観光地があります。また、西大分には隠されたまだ手つかずの色々な観光の魅力があります。そこで、観光の新名所づくりをこのビジョン会議でしてみたいと思います。コンセプトは、観光も学びでもあり、教育もまた学びということ、また、遊ぶことも重要と考えて、「学び・遊びのまちづくり」と考えました。



【今後について】

各班から発表された大分西部地域のまちづくりのコンセプト(案)をもとに、ビジョン策定に向けた議論を深めていきます。なお、第3回会議では地域の課題解決等に向けた事業案について、グループワークによる意見交換を行います。

